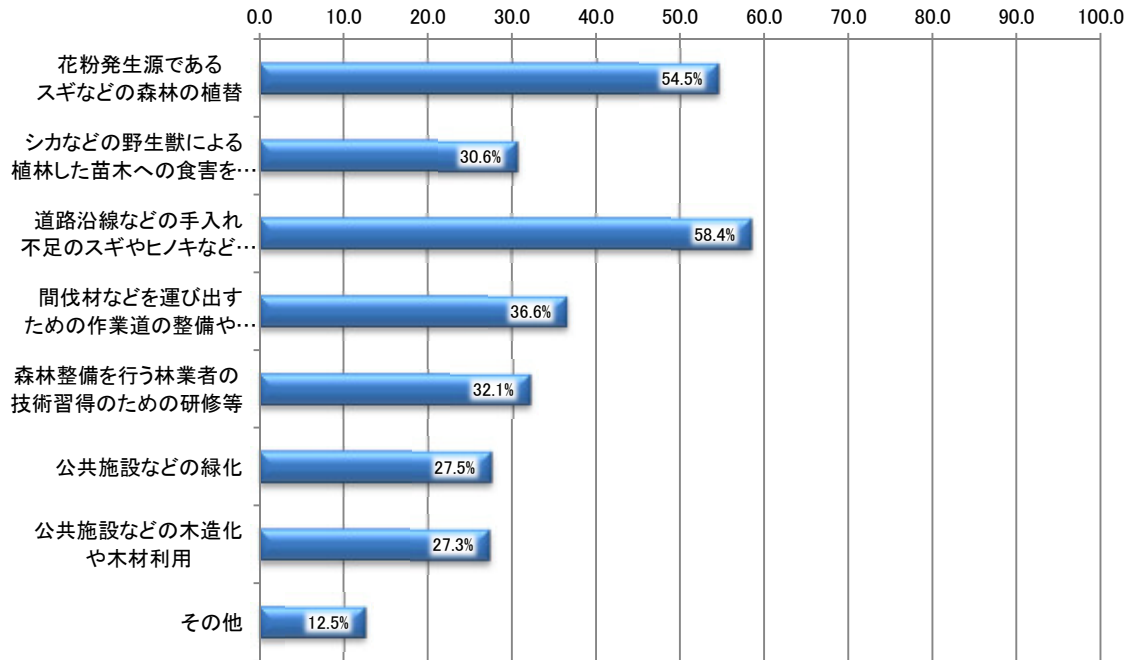


5) 問5 「ぐんま緑の県民税」を継続した場合の取組について

あなたは、群馬県の大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、今後どのような取組に「ぐんま緑の県民税」を活用すべきと思いますか。該当する番号を3つまで○で囲んでください。

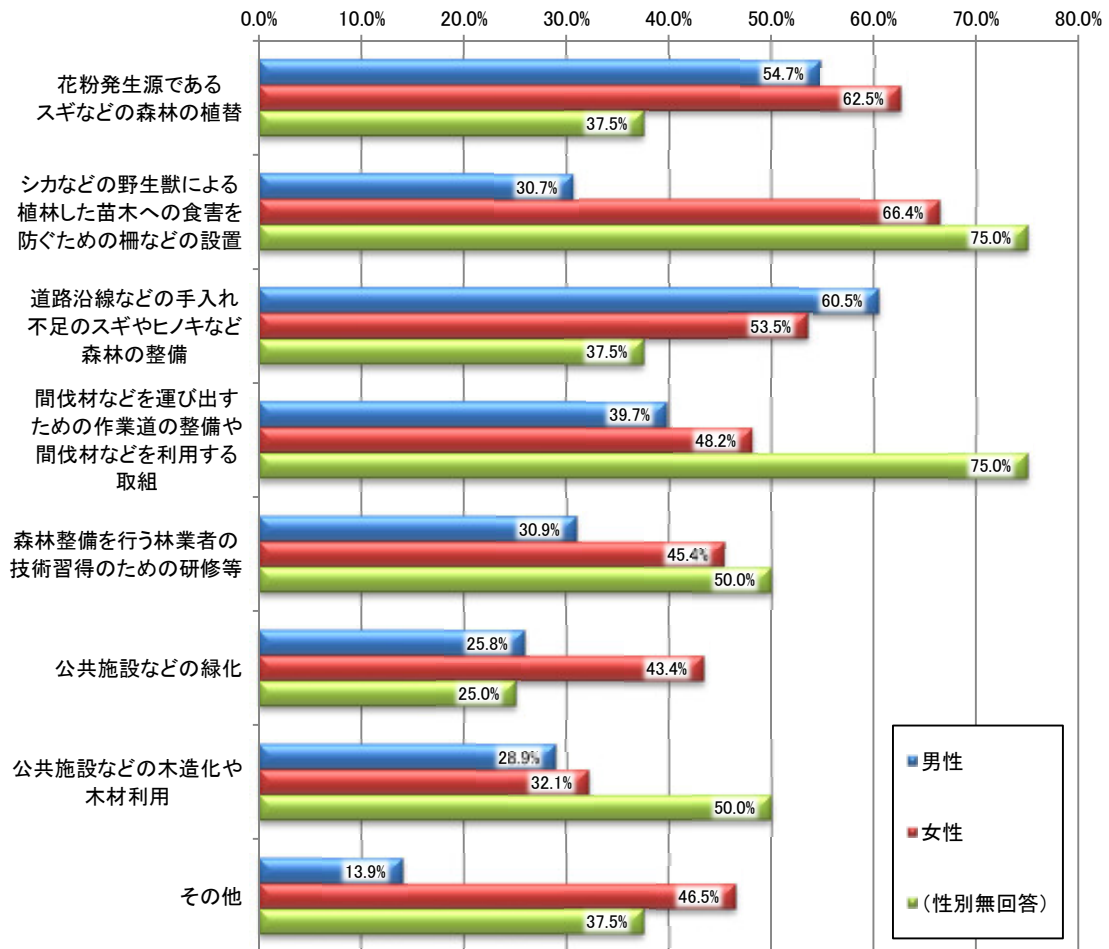
① 項目ごとの回答者数



項目	人数	構成比 (%)
花粉発生源であるスギなどの森林の植替	547	54.5
シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置	307	30.6
道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	586	58.4
間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組	367	36.6
森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等	322	32.1
公共施設などの緑化	276	27.5
公共施設などの木造化や木材利用	274	27.5
その他	125	12.5
計	n=1,003	100.0

花粉発生源対策や道路沿線の手入れ不足森林の整備に半数以上の回答者が活用すべきと回答した。野生鳥獣対策や公共施設緑化、施設の木造化等については3割程度にとどまった。

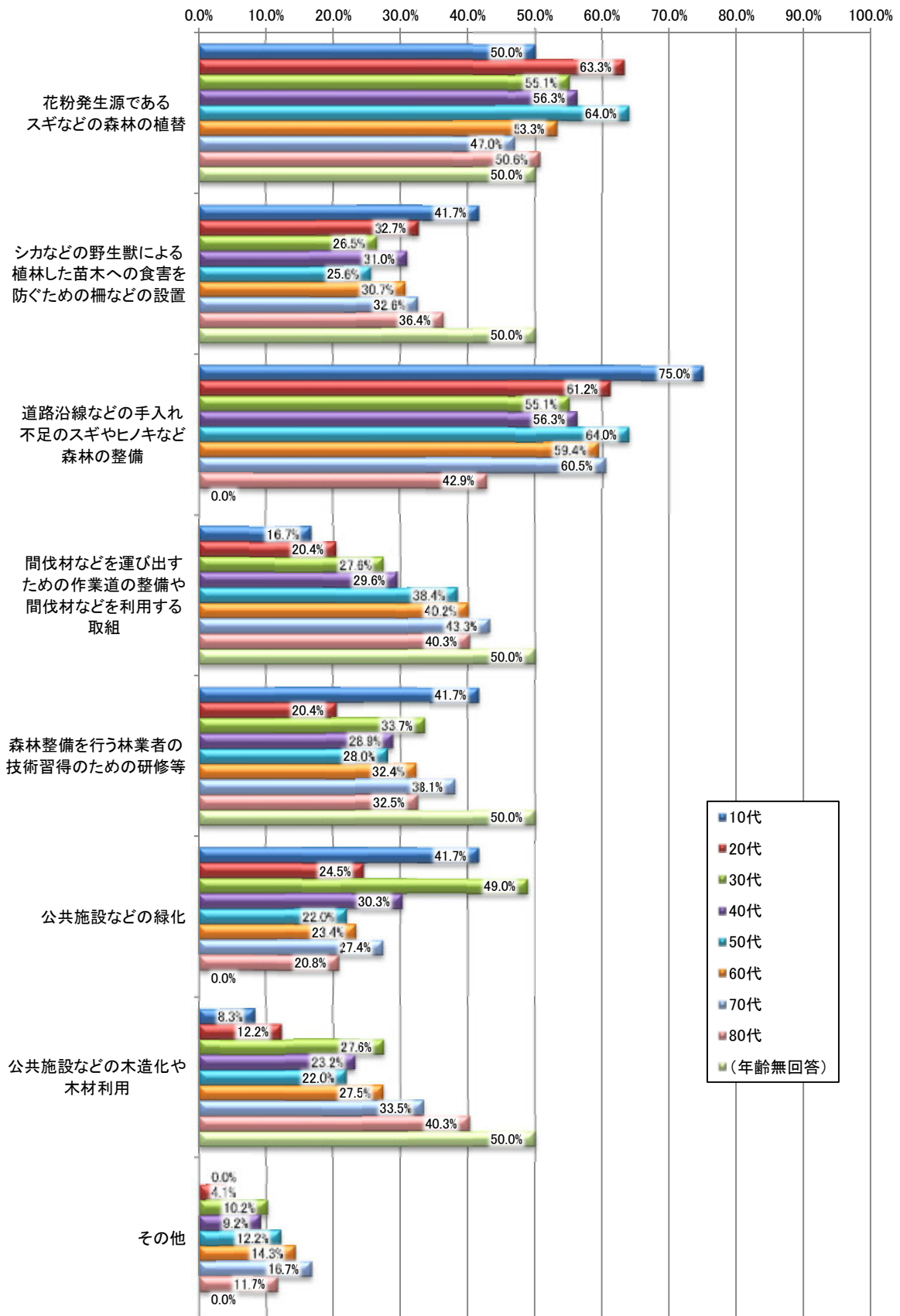
② 男女別の回答者数



項目	男性		女性		(性別無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
花粉発生源であるスギなどの森林の植替	248	54.7%	339	62.5%	3	37.5%
シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置	139	30.7%	360	66.4%	6	75.0%
道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	274	60.5%	290	53.5%	3	37.5%
間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組	180	39.7%	261	48.2%	6	75.0%
森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等	140	30.9%	246	45.4%	4	50.0%
公共施設などの緑化	117	25.8%	235	43.4%	2	25.0%
公共施設などの木造化や木材利用	131	28.9%	174	32.1%	4	50.0%
その他	63	13.9%	252	46.5%	3	37.5%

獣害対策、公共施設緑化等で女性の意見が多い結果となった。

③ 年代別の回答者数: 項目別

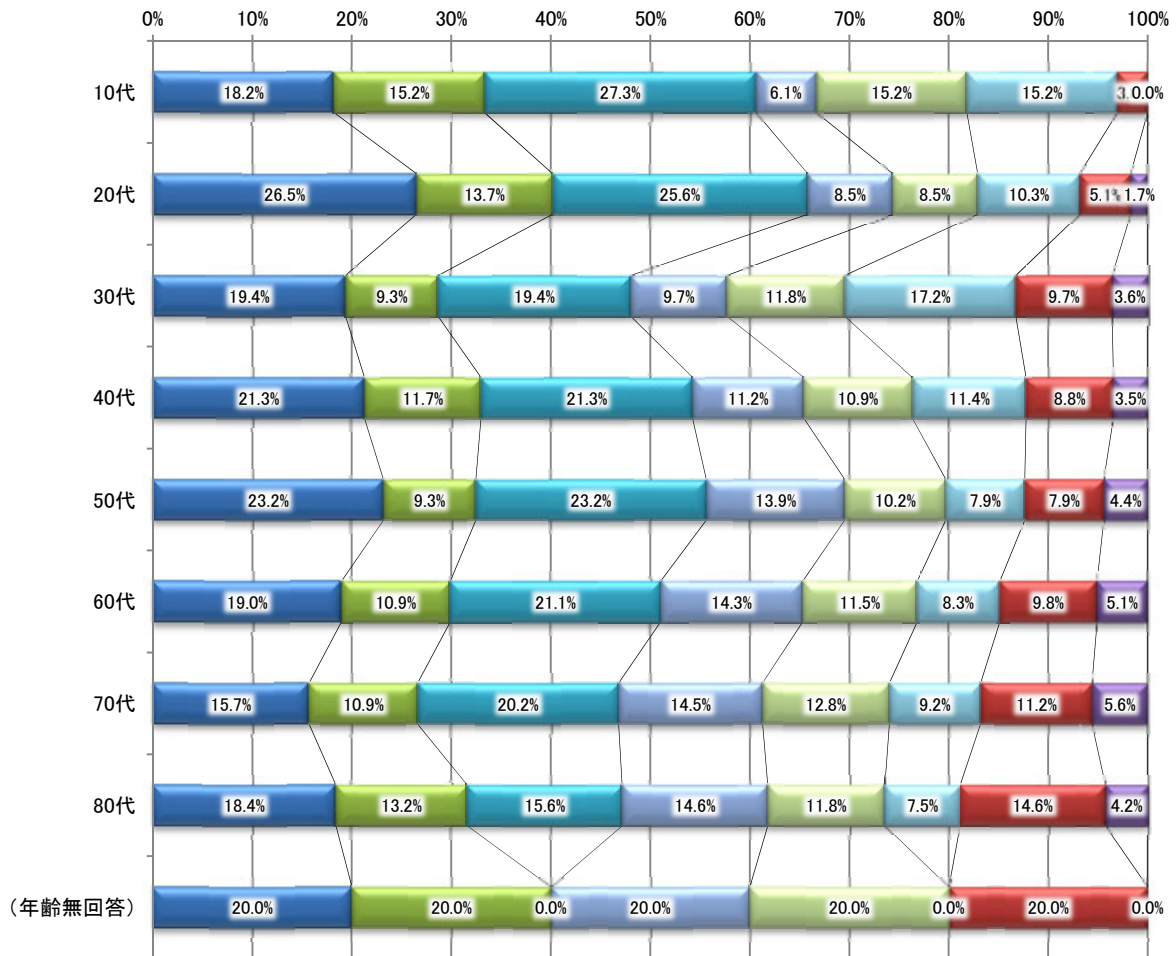


番号	項目	10代		20代		30代	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	花粉発生源であるスギなどの森林の植替	6	50.0%	31	63.3%	54	55.1%
2	シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置	5	41.7%	16	32.7%	26	26.5%
3	道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	9	75.0%	30	61.2%	54	55.1%
4	間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組	2	16.7%	10	20.4%	27	27.6%
5	森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等	5	41.7%	10	20.4%	33	33.7%
6	公共施設などの緑化	5	41.7%	12	24.5%	48	49.0%
7	公共施設などの木造化や木材利用	1	8.3%	6	12.2%	27	27.6%
8	その他	0	0.0%	2	4.1%	10	10.2%

番号	40代		50代		60代		70代		80代		(年齢無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	80	56.3%	105	64.0%	130	53.3%	101	47.0%	39	50.6%	1	50.0%
2	44	31.0%	42	25.6%	75	30.7%	70	32.6%	28	36.4%	1	50.0%
3	80	56.3%	105	64.0%	145	59.4%	130	60.5%	33	42.9%	0	0.0%
4	42	29.6%	63	38.4%	98	40.2%	93	43.3%	31	40.3%	1	50.0%
5	41	28.9%	46	28.0%	79	32.4%	82	38.1%	25	32.5%	1	50.0%
6	43	30.3%	36	22.0%	57	23.4%	59	27.4%	16	20.8%	0	0.0%
7	33	23.2%	36	22.0%	67	27.5%	72	33.5%	31	40.3%	1	50.0%
8	13	9.2%	20	12.2%	35	14.3%	36	16.7%	9	11.7%	0	0.0%

道路沿線の森林整備、獣害対策、公共施設緑化等で若年層の意見が多い結果となった。
公共施設の木造化については年齢層が高い方が多い結果となった。

④ 年代別の回答者数:年代別



- 花粉発生源であるスギなどの森林の植替
- シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置
- 道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備
- 間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組
- 森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等
- 公共施設などの緑化
- 公共施設などの木造化や木材利用
- その他

番号	項目	花粉発生源であるスギなどの森林の植替		シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置		道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備		間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	10代	6	18.2%	5	15.2%	9	27.3%	2	6.1%
2	20代	31	26.5%	16	13.7%	30	25.6%	10	8.5%
3	30代	54	19.4%	26	9.3%	54	19.4%	27	9.7%
4	40代	80	21.3%	44	11.7%	80	21.3%	42	11.2%
5	50代	105	23.2%	42	9.3%	105	23.2%	63	13.9%
6	60代	130	19.0%	75	10.9%	145	21.1%	98	14.3%
7	70代	101	15.7%	70	10.9%	130	20.2%	93	14.5%
8	80代	39	18.4%	28	13.2%	33	15.6%	31	14.6%
9	(年齢無回答)	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%

番号	森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等		公共施設などの緑化		公共施設などの木造化や木材利用		その他	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	5	15.2%	5	15.2%	1	3.0%	0	0.0%
2	10	8.5%	12	10.3%	6	5.1%	2	1.7%
3	33	11.8%	48	17.2%	27	9.7%	10	3.6%
4	41	10.9%	43	11.4%	33	8.8%	13	3.5%
5	46	10.2%	36	7.9%	36	7.9%	20	4.4%
6	79	11.5%	57	8.3%	67	9.8%	35	5.1%
7	82	12.8%	59	9.2%	72	11.2%	36	5.6%
8	25	11.8%	16	7.5%	31	14.6%	9	4.2%
9	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%

公共施設の木造化については年齢層が高い方が多い結果となった。